

# 令和3年度 学校評価報告書

丹波篠山市立 大山小 学校

校長 足立 真一郎

## 1 学校教育目標等

夢や希望をもち、生き生きと輝く大山っ子の育成  
～大好き自分・大好き友だち・大好き大山～

## 2 今年度の重点目標

確かな学力の育成を図る学習指導の充実を図る。

- ① 校内研修による全校での「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善を進める。
- ② 学力など児童の実態把握に基づくきめ細やかな指導の充実を図る。
- ③ けテぶれを生かした漢字学習、計算チャレンジ週間、がんばりタイムの推進による基礎基本の定着を図る。

## 3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

| 分野     | 評価項目  | 達成状況 | 取組状況・改善方策  |
|--------|---|------|--|
| 学習指導   | 学力向上  | A    | 学力調査の結果分析を学校独自で行い早期に授業改善や課題の対策を進めた。自主学習に「けテぶれ」学習法を取入れ、自分の課題にあった学習に取り組む力が着いてきている。               |
|        | 授業改善  | A    | 予習学習を生かし、対話によって学びを深める授業改善を行った。全学年の研究授業を行い、教材研究や事後研究の進め方を改善し深めることができた。                          |
| 生徒指導   | 組織的な取り組みの充実                                   | B    | 学団会議・生徒指導委員会の定期開催、いじめアンケート等により児童理解に努めるとともに、問題行動に対する組織的な早期対応ができています。                            |
|        | スクールカウンセラー(S C) スクールソーシャルワーカー(S S W R)等との連携強化 | A    | S S W Rを交えたケース会議を3事案を対象を増やし、組織的な対応による環境調整など効果が上がった。S Cの児童観察を生かした児童理解や指導方法の工夫改善ができた。            |
| 特別支援教育 | 個に応じた指導の充実<br>校内支援体制の整備                       | A    | 月例の特別支援教育委員会において、個別の指導計画の内容検討を深め、個に応じた指導や組織的な指導、教育相談の充実を図った。                                   |
| 地域連携   | 安全点検<br>安全・安心な学校づくり                           | B    | 学校運営協議会との連携による安全点検や登下校の安全確保の充実を図り、危険箇所の早期発見や早期対応に努めることができた。大木の伐採や地域見守り隊の拡充、全地区一斉下校指導を行うことができた。 |

|  |               |   |   |
|--|---------------|---|---|
|  | 地域とともにある学校づくり | B | 地域の外部講師を積極的に招聘し、ふるさと学習の充実や地域のひと・もの・ことから学ぶふるさと教育を拡充することができた。 |
|--|---------------|---|---|

#### 4 学校関係者評価結果

##### (1) 重点目標についての評価

|  |
|--|
| <p>○学校経営方針及び重点目標は、適切に設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と学校、保護者がこれまで以上に協力して、子どもたちの成長に向けて協議したり一緒に活動したりできる連携体制を築いていきましょう。</li> </ul> |
|--|

##### (2) 総合的な評価（意見・感想）

|   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・安心・安全また基本的な生活習慣における指導がよくうかがえる。</li> <li>・子どもが学校に行くのが楽しいと聞き、地域に住む住人の一人として誇らしく思う。</li> <li>・感染リスク低減においても学校運営ガイドラインに基づいた検温、換気、手洗い、マスク、消毒等徹底していることが、よく伺える。引き続き大変でしょうが、「持ち込まない、広げない」防止対策の徹底を願う。</li> <li>・大山の特産物、大山の自然等、自分の住んでいる所を地域の人と学べることは地域との交流を含めて大事だと思う。時間調整は大変でしょうが、続くことを期待している。</li> </ul> |
|---|

##### (3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

| 分野     | 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価   |
|--------|--|
| 学習指導   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価及び保護者評価の集計結果から、学習指導の充実、児童の自尊感情などの評価及び意識が高まったことがよく分かる。</li> <li>・大山スタイル（けてぶれ）学習法取り入れた取組が、児童及び職員の約90%が肯定的な評価となっている。また、95%の保護者が学習を理解していると評価いただいている。自主学習力を伸ばし基礎基本の定着と個性の伸長につながる家庭学習の取組について、継続並びに更なる改善策を話し合い努力願う。</li> </ul>  |
| 生徒指導   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校が楽しく、安心できる場となっていることが、児童及び保護者ともに100%となっている。安心して過ごせる学校づくりができています。</li> <li>・「いじめ」についても、個人懇談やミニ会議において丁寧な対応をされていますが、今後も続いていく課題なので引き続き尽力願う。</li> <li>・自尊感情や自己肯定感、学校教育目標にも大きく掲げられているとおりとても大事である。自己の良さは、他者からの評価で分かることが多い。友だち、先生、家庭・地域からの承認が増えるようにしていきたい。</li> </ul>   |
| 特別支援教育 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたち一人一人の実態把握に努め、個に応じた指導を工夫して取り組んでいただいている。</li> <li>・先生方のご指導のもと、一人一人の児童の成長がよくわかる。今後も引き続き子どもたち一人一人に寄り添った指導をしてほしい。</li> </ul>   |
| 地域連携   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点目標①「安全で安心して学べる環境作り」において、保護者評価が全項目とも達成率が100%近くあり、良く取り組まれている。安全に過ごせる環境はとても大事なことで、今後とも環境作りをお願いしたい。安全点検や環境面で、地域としてできることは協力していきたい。</li> <li>・地域のことを知ったり地域の人と学んだりするふるさと教育を、これからも大切に取り組んでほしい。学校から地域人材や地域素材の提供については要望があれば、我々地域のものではできるだけの協力をしていく。</li> <li>・地域とのかかわりで、子どもと話がしやすくなり良いのではと思う。</li> <li>・ふるさと教育の中に、「SDGs」の教育を追加していただきたい。例えば、6年生の学習として。</li> </ul> |